

帰りは欠航の可能性も

台風接近で舢倉島総合診療中止

小森医師 自主診療で渡島



〓金沢市橋場町、写真〓は自主診療に切り替えて臨み、島民との信頼のきずなを強めた。

同診療は一九八二(昭和五十
七)年から毎年一回実施しており、ことしも二日間の日程で外科、内科、眼科の医師五人と看護師らが渡島の準備を整えていた。しかし、台風の接近で二日目の

県と輪島市が専門医や看護師を舢倉島に派遣する「へき地総合診療」は三十一日、台風10号接近による影響が懸念されたため、中止となったが、派遣医師メンバーのうち小森耳鼻咽喉科医院院長小森貴さん(五三)

一日に定期船が就航できない可能性が出てきたため、急きよ、取りやめた。

小森さんは八三年から舢倉島へ渡り、過酷な潜水業務で耳の疾患に悩む海女たちの診療を続けてきた。このため、待ちわびる患者に思いをよせ、渡島を決意した。舢倉島診療所長西川晋吾さんとの連携で、この日診察した患者はざっと三十人。渡島二十二年目の小森さんは「耳鼻咽喉科に関する島の診療は私のライフワーク。体の続く限り続けたい」と話している。